

第 95 号記事のお詫びと訂正

特集「平成生まれの公園へ行こう！」11 頁の記事「都立公園でのボランティア活動はボランティア元年以前から」の本文で、〈都立公園でのボランティアは平成 3 年（1991）に桜ヶ岡公園雑木林ボランティアとして導入されたのが草分け〉としましたが、都立公園におけるボランティアは、すでに昭和時代の後期に複数の公園で開始されておりました。お詫びして訂正いたします。

都立公園での

ボランティア活動は

ボランティア元年以前から

公園では職員以外に、花壇の手入れや水やり、樹木の手入れ、草刈りなどをする人たちの姿を目にする。公園の維持管理などへの市民参加、ボランティアであるが、この公園ボランティアは平成に入って定着したもの。

阪神淡路大震災の平成 7 年（1995）がボランティア元年といわれるが、都立公園でのボランティアは昭和の後期にいくつかの公園で始まり、平成とともに広がり、今ではほとんどの公園でボランティアが活躍。東京都公園協会が管理する公園だけでも 5,000 人以上が参加している。活動内容も花壇や樹木の手入れから公園・庭園ガイド、自然観察会開催、里山作業、希少植物保護など多岐にわたっている。